



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

令和元年度 第11号 令和2年3月16日発行

確かな成長の1年

校長 古山 真樹

3月2日から全国的に臨時休校という緊急措置が為され、最後のひと月を学校で生活できないことは残念なことです。安全第一ですので致し方ありません。4月、元気に新たなスタートを切りましょう。

さて、1年を振り返ってみて、学校全体の視点からすると、令和元年度は着実に進歩し、発展した年だったと言えると思います。それは次の4点にまとめられます。

1 地域のボランティアワークへの参加者が97名に及んだこと。その基礎を築いたのは旧生徒会役員の活躍でした。「自主自律～自分の力で挑戦～」というスローガンを掲げて、学校に勢いをつけてくれました。

2 朝礼を始め全校で集まるときの姿・態度がたいへん引き締まっていたこと。その場の状況を考えた行動がとれたと言えます。その他2回のオリパラ講演会、道徳講演会等もしっかりと話を聞き、積極的に質問できた姿勢は素晴らしかったと思います。

3 校外学習・修学旅行での班行動がたいへん素晴らしかったこと。特に班長やその他の係そして実行委員が自分たちの役割に責任をもって取り組んでいる姿がたいへん印象的でした。

4 運動会、合唱コンクールへの取り組み姿勢。それぞれリーダーがしっかりと考えて指示を出したり、みんなで話し合ったりしながら「優勝するぞ」と一生懸命になっている姿が素晴らしかったです。

どの場面でも3年生のがんばりが学校を安定させ、進歩へと導いてくれました。1・2年生はこの状態を当たり前にして、さらに前進する開一中をめざして頑張っていきましょう。

最後になりましたが、地域・保護者の皆様、本年度も本校に対しまして、多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。休校措置に付随して、保護者会の中止、学校の出入りの制限等、たいへん心苦しい限りですが、どうかご容赦いただきたいと存じます。一日も早く通常な状態に戻り、学校に活気が蘇ることを祈っております。改めて、本年度の皆様のご厚情に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今月の金言・名言

神はわたしに、成功を収めることではなく、真心を尽くすように命じた。

マザー・テレサ

皆さん、マザー・テレサという名前は聞いたことがありますか。亡くなられてから20年以上が経ち、だんだん人々の記憶から遠ざかってしまっているように感じるのは、たいへん残念なことです。

マザー・テレサ、本名はアグネス・ゴンジャ・ボヤジュと言い、マケドニア（旧ユーゴスラビア）で1910年に誕生しました。一家は裕福で、両親は信仰心が篤く、貧しい人への施しを積極的に行っていたそうです。そのため小さい頃からインドで修道女として働きたいという希望をもち、その願いどおり、18歳でインドに渡りカトリックの修道女となりました。これだけでも大変なことです。当時のインドはイギリスから独立したものの貧しい国で、ヒンドゥー教とイスラム教徒の対立が激しく、死傷者は数百万人と言われ、あのマハトマ・ガンジーも暗殺されてしまう大混乱の時代でした。そんな中で、当初はカルカッタの上流階級の子女が通う学校で教師をしていましたが、ある日ダージリンに向かう汽車の中で「すべてを捨て、最も貧しい人の中で働くように」という神の啓示を受け、修道院を出て当時「地上最悪の貧民窟」と言われたカルカッタのスラム街に移り住みました。マザーは、飢えや病気で死にそうになっている路上生活者を連れてきて、最期を看取るための施設「死を待つ人々の家」を設立しました。その後、語り切れないほどの苦勞を乗り越えて、マザーは世界中の人々から崇拝されるようになります。1979年ノーベル平和賞受賞、1997年に亡くなりましたが、インドで国葬が行われるほど惜しまれました。どれほどインドの人に愛されたかがわかります。

長々とマザーの一生を記してしまいましたが、その生き方こそが今月の言葉そのものだからです。自分の欲はすべて捨て去り、貧しい人々に惜しみなく愛を注ぎました。「見捨てられて死を待つだけの人々に対して、自分のことを気にかけてくれた人間もいたと実感させることこそが愛を教えることなのです。」という信念のもと、だれにも笑顔で接し、手を握って最期を看取りました。個人の成功とか失敗などとははるかに違う次元で、ひたすら亡くなっていく人たちに真心を尽くした生涯でした。

優良卒業生表彰

3年 荒木 洋輔

3年 笠継 莉愛

技術や家庭科、実験や実習に熱心で、積極的に創意工夫している者で、卒業後の進路に目的をもって意欲的に取り組んでいる生徒に対して、東京都産業教育振興会より男女各1名に贈られるものです。

体育優良生徒表彰

3年 田村 春奈

3年 板山 光太郎

体育・スポーツ活動に秀でた技術を有し、学習態度がよく、成績が優秀であり、他の生徒の模範となる生徒に対して、公益財団法人東京都体育協会より男女各1名に贈られるものです。

「令和元年度 ボランティアワーク」に参加した生徒に対し、青少年育成第二地区委員会より、素敵な「参加証明書」が贈られました。ありがとうございました。

今年度の該当生徒は、97名でした。令和2年度も多くの生徒が、ボランティアワークに参加することを期待しています。



令和元年度 公立学校美術展出品者

美術科		
学年	氏名	出品作品
3年	藤島 彩羽	球体ポップアップカード
3年	西田 伸行	球体ポップアップカード
3年	大矢 北斗	紙袋のデザイン
3年	稲葉 朱里	紙袋のデザイン
3年	三浦 佳那子	紙袋のデザイン
3年	荒木 洋輔	紙袋のデザイン
2年	北澤 太陽	レザークラフト
2年	有馬 詩織	レザークラフト
2年	桑門 煌人	レザークラフト
2年	加藤 香佳	レザークラフト
技術科		
1年	小関 瑛治	Wテッシュケース
家庭科		
2年	陶山 実桜	ブックカバー
2年	西垣 美佑	ブックカバー
国語科		
3年	三浦 佳那子	書写

令和元年度 練馬区薬物乱用防止ポスター入選

- ◆最優秀会長賞 3年 植栗 綾香
- ◆会長賞 1年 池嶋 万侑
- ◆佳作 1年 中野 優

同窓会寄贈品 テント 15張り

毎年の猛暑で問題となるのが、運動会シーズンの熱中症防止対策。本校の同窓会に相談したところ、「開進一中の生徒にぜひテントを！」ということで、なんと15張りのテントを寄贈していただきました。

このテントはクイック式で、4人で簡単に張ることができます。運動会シーズンだけでなく、夏の部活動でも利用できますね。

同窓会の皆さま、本当にありがとうございました。



令和元年度 開進第一中学校同窓会代表
田村 春奈 ・ 金安 純正